

第2回高野口中学校移転改築検討委員会
会議録

開催日時	令和8年2月4日(水)19:00～21:30
開催場所	橋本市教育文化会館3階 第1研修室
出席者 (委員)	廣岡委員、北澤委員、前田(昌)委員、木村委員、飛島委員、向委員、角谷委員、井澤委員、村上委員、前田(泰)委員、北浦委員、森本委員 【出席委員12名】
欠席者	なし
事務局	橋本市教育委員会 今田教育長 教育委員会事務局 岡教育部長、阪口参事 同 丸山教育総務課長、裏川教育総務課長補佐、増谷施設係長 (株)東畑建築事務所:高木、花村、中村、神谷、加藤(まち楽房(有))
次第	1. 開会 2. 前回の振り返り 3. 前提共有 4. グループワーク 5. 発表及び全体共有 6. 閉会
資料	(当日配布資料) ・ニュースレター ・前回アンケートまとめ ・質疑回答 ・全体スケジュール概要 ・おさらい 2つの候補地について ・未来志向の学校紹介 ・候補地の空中写真 ・ゾーニング検討 ・前回スライド資料
公開/非公開	公開
傍聴者	5名
その他	なし

【議事要旨】

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
事務局	本日の会議は、橋本市立高野口中学校移転改築検討委員会条例第6条第2項の規定により、現時点で委員12名中10名のご出席いただいており、過半数の出席がありますので会議は成立していることを報告します。
事務局	橋本市立高野口中学校移転改築検討委員会条例第7条により「会議は公開する」となっていますので、公開の会議としてよろしいでしょうか。 (委員了承) 本日の傍聴人は5名です。
2. 前回の振り返り	
東畑建築事務所	ニュースレターに基づき振り返り。
事務局	<p>前回出た質疑について回答。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この2択でなぜ1年半かかったのか。 (回答)検討委員会が始まる前に、庁内でプロジェクトチームで検討を行ってきました。検討案として当初7案あり、部門の担当者とともに、様々な観点から検討を重ねてきたところ。また、県への要望が事情により数カ月を要したことも重なり、並行して取り組んだ結果、時間がかかる結果となった。 ・中高連携を考えているか (回答)中高連携は検討していません。 ・小中一貫校(義務教育学校構想)について検討していくのか。 (回答)将来的に検討する可能性はありますが、今回の高野口中学校の移転改築に関しては検討する予定はありません。 ・応其小は小中連携を目指しているのか (回答)教育委員会では、中学校区ごとに「9年間の学びのストーリー」を作成し、各小・中学校のスクールプランにより学校運営を行っています。学校間連携の内容は、学校長の権限により、その判断に任せています。 ・人数に合わせた学校づくり (回答)現時点では、令和13年度の生徒数見込みは212人(1年57人2クラス、2年生81人3クラス、3年生74人3クラス)を想定しています。国の補助金申請において生徒数をもとに必要な面積が決められていることから、その時点での人数に見合った面積がベースとなります。 ・周囲からの苦情(砂埃・交通・騒音等)への対応は (回答)建物の防音対策やプライバシーの配慮に努めていきます。 ・B案の場合、高野口小学校区の方も賛成なのか？ (回答)A案、B案どちらに決定した場合でも、理解を得られるよう準備を進めてまいります。

	<p>・交通量が多くなり通学路の危険箇所はどうか (回答)安全確保に向けて必要な対策を学校と検討してまいります。</p> <p>・今後の見通しについて (回答)令和13年度の開校を目指しておりスケジュール(別紙参照)として、令和7年度に用地選定、令和8年度に基本計画策定、令和8年度～令和10年度に実施設計、令和11年度～令和12年度に校舎建設工事を予定しています。</p> <p>・A 案、B 案の敷地面積はどれくらい (回答)A 案は13,000㎡、B 案は約20,000㎡(小学校含む)です。</p>
3. 前提共有	
東畑建築事務所	<p>2つの候補地として、A 候補地が旧応其中学校跡地、B 候補地が応其小学校隣接地となっています。</p> <p>応其中学校の跡地について、基本計画業務が始まり、行政機関と協議をし、開発については、今の現状の地形、大幅な造成をしなくて、今の地形を活かしながらというふうな計画をしていけば、開発許可は不要というような話が見えてきましたので、市が示したスケジュール感でやっていけるかなと考えています。</p> <p>前回の委員会を踏まえてポイントを整理した。1つ目、行きやすさ。2つ目、作りやすさ。3つ目、まわりとの関係。4つめ、使われ方。5つ目、長い目で見て。ということ整理した。</p> <p>学校を建てるとどのくらいの大きさということで、模型を使ってシュミレーションした。</p> <p>A 候補地は、2階建ての場合、150mトラックがギリギリ取れるかどうかとなる。平屋では、グラウンドは取れなくなる。</p> <p>B 候補地は、2階建てになると150mトラックが取ることができなくなる。</p> <p>未来志向の学校について紹介</p>
4. グループワーク(4人1組+東畑建築事務所)	
	<p>A、B 候補地について、良いところをブルーの付せん、気になるところををピンクの付せんに書いて模造紙に貼付。</p>
5. 発表及び全体共有	
委員	<p>・「い」グループでは、一目瞭然でブルーとピンクに分かれました。その理由として、A 案の方が教育環境を考えたら、A 案が絶対に良い、相乗りの応其小学校はただ小学校が狭くなるだけの話。街の中心地なので、地域住民が集まりやすい。複合施設で、地域との連携の話とか、災害の避難所とかの話、小中一貫は今のところ考えていませんという意味では見えてこない。教育環境は必ずしも良くはない。</p> <p>・応其小学校のメリットは、小学校と中学校が隣接しているのは良い面もあるし、今ひとつの面と両方あると思う。上手く行くと素晴らしい。逆にそっちに期待するところでは。</p> <p>・皆さんの言われたとおり議論するにあたり、情報が少なすぎるのも感じる。周りとの関係とか、住民アンケートとっているのかどうか。両方に言えるクエスチョンとして150mのトラックでクラブ活動できるのか。プールなくなって大丈夫か。</p> <p>期待したいところが、最初から高校との連携が無いとの答えだが、可能性はあると思う。一度断られてもまだ頼み方の工夫次第だと思う。もうちょっと柔軟な対応をしていただきたい。情報をもう少しこちらに提供していただかないと大事な正</p>

か否かの選択が難しいと思います。

・応其中学校の私らの年代は、1クラス 50 人体制の学校ができてそれでもやってきた。今は1クラス 20 人 30 人足らずの学校になると思うので、十分敷地も大丈夫だと思っている。

・「ろ」グループは、ブルーが多いのとピンクが多いのと、先ほどの発表とほぼ同じで、応其中学校跡地はほぼ中央であり、使いやすい意見が多かった。応其小学校のところは小中連携をしないならあの場所のリスクは多いのかなという意見でした。

・旧の応其中学校跡地は、中心地でどこからの地域もアクセスがしやすい。応其小学校の方が連携とか、商業施設なんかも結構あるので、ちょっと教育的にどうなのかなとか、そういうところも含めてブルーの方になる。

・A 案の方が子ども達にとっても地域の人にとっても、良いのではないかという意見です。子ども達のこともそうだが、地域の人に快適に過ごしていただきたいというか、避難所だったり、あとは図書館、公民館そういうのを一緒につくってほしいと思っているので、そういう面でも B 案ではちょっと狭すぎて、小学校と一緒にでは狭すぎるし、小中と子どもメインになってしまうのではないかと考え、私は A 案と思いました。

・今後、その跡地であったとしても、やっぱり香久の実保育園との近接とか、伊都中央高の共用とかいろいろ問題はあると思うんですけども、やはり街の中心地、そして街の活性化ということを考えた時に、応其中学校跡地しか考えられないのかなと思う。皆さんの意見もほぼほぼブルーが多いのはそういうことからと思います。特に、これから子ども達が少なくなってくるなかで、伊都中央高が大きなグラウンドが隣にあるのですから、うまく共用できる学校づくりが一番大事ではないのかなと思います。

・「は」グループは、結論から言うと、皆さんと一緒に A です。B にも良いところがあります。ただ、ピンクが圧倒的に多い。まとめていったのを言うとほぼ皆さんと一緒にです。マイナス面を出して行くと前へ進まない。プラス面を考えた時に、高校がある。これを使えないかと。新しい建物をもし、敷地にグラウンドがあるのなら、高校生にどんどん入ってもらって、一緒に使って、お互いに使い合ったら、たぶん大人は何も文句言わないですね。あとは、県と市が仲良くやってくれたら問題ない。危険性に関しては、どちらも道が狭いのではないかと。国道に面している。そこも、次のステップであるのか、次回になるかわからないですけど、皆さんからのご意見いただけたらいいと思います。

・A 案の方が魅力だと多いのですが、A 案にしても B 案にしても危険性はある。A 案にしても伊都中央の前の校門のところで死亡事故があった。あそこの交差点が非常に危険。今の状態ではあそこを通学する生徒が少ないですが、実際に旧応其中学校跡地にするのなら、伊都高校前の交差点でもすごいたくさんの自転車が通行したりするなかで、非常に見通しが悪い箇所があるので、旧応其跡地にしていくなれば、そこを良い方向にしていけないといけな。

応其小学校にしても国道を通行するリスクもあり、自転車通学を許可した場合に上の歩道を通れませんので、必ず国道の横断歩道を渡らないといけな。この自転車通学の危険性は応其小学校にした場合に、どっちにしても危険性がある

	<p>ので、そこどころクリアしていく必要があると思いました。</p> <p>応其小の場合 2 年間工事をする時に騒音であるとか、近隣住民さんもそうかわかりませんが、一番肝心の児童に対して、騒音被害というか、そういうものが2年というかなり長い時期になります。ここらあたりもデメリットと思う。それなら何もない旧応其中学校跡地が良いかなと思います。</p>
委員	<p>小中連携を学校長の判断に委ねることは乱暴でないか。</p> <p>2候補地について校長は知らなかった。校長が反対すればどうなる。</p> <p>応其小学校は候補地としてふさわしいのか。</p> <p>高野口中学校を街中へ！の会から旧応其中学校跡地を候補地にと市へ言っても狭い、プールできない、100mできないといって最初からダメだった。</p> <p>市の検討状況の情報が公開されていない。候補地が2つに上がるまでの経緯を知るべきである。</p> <p>検討委員会の議事録も第3回まで終わって市長への答申が終わってから、ホームページに載せるとのこと。市民は誰1人知らない。</p> <p>この検討委員会も、各団体の代表者が集まってるんです。ていうことは、この代表者がこの議会で議論した理解、議論した内容を各団体に持ち帰り、団体の中でまた議論をしたものをここへ持ってくる。そうやって決めていくのが本来の検討委員会だと思ってたんですけれども。それも伏せといてくれ。結局、これは何なんだったということになるんです。</p> <p>伝えたいことがあって、ということで、議事録を公開することの大切さ。</p> <p>近年小学校の統廃合のことで随分もめてますけれども、ちゃんと情報発信がされてない。</p> <p>境原小学校の説明でも、入学後に再編の話を聞いたが、計画だけでも伝えておくべきではなかったかという意見が議事録に載っていた。教育委員会の皆さんには、ことさらにわかりやすく、そして丁寧に市民への説明を繰り返し行っていただきたいと切望しますっていう声が上がっている。文教厚生建設委員会から教育長にあてて提言書も出されている。</p> <p>こども園の保護者は、このメンバーの中には入っていません。小さな子を持つ保護者は何も知らないままなんです。意見を上げる場所すらない状態です。</p> <p>教育委員会の進め方を改める必要があるんじゃないかと思うんですけど、教育長がどう思われるのか尋ねてみたい</p>
教育長	<p>教育委員会として大事にしていきたいっていうことは、自分たちだけで進めるっていうことは、それは考えておらず、協働のまちづくりっていうことを、ずっと言っていますし、地域の方のご協力をながら、教育活動も長年にわたって進めてきています。そういったことから基本的な考え方としては、皆さんのご意見を聞かしてもらいながら進めていくっていうのを基本としています。</p> <p>例えば、今日話していただいた中の話でも、小中一貫教育とか、義務教育学校の話っていうのは、皆さんの話聞いてて、私は、私たち思ってることが伝わってないなということがわかりました。だから、私たちは伝えてるつもりであっても、理解されてない部分というのがあります。そういったところはやっぱりこう詰めていく、していかないといけないなということを思いますので、こういった対話っていう</p>

	のを大事にしながらやっていきたいと思います。
委員	<p>・今回、検討委員会に対しては、何ら説明もされず集められた皆さんが少ない情報の中で、A 案か B 案か決めないといけないうって、大事なことを決めないといけないうってということにも問題がある。</p> <p>そのプロジェクトチームの議事録も公開されてない。</p> <p>第 1 回目の議事録も公開されてない、市民の人には話せない。</p> <p>自分たちの団体ですらその話を揉むことができない。</p> <p>私、統廃合の議事録読んでるので、私自身は統廃合とは関係ないところですが、そこの高野口に関しても、同じ気持ちなんですよ。</p> <p>今されてることと、この移転に関して情報が何ら出てこないということに対して、そして誰も自分たちの周りが誰も知らない、同じ子育てすら世代ってすら知らない。</p> <p>そして小さな子を抱いてる保育園の子供たち、お母さんたちも知らない。</p> <p>そしてその中で、地域の人にもアンケートとってない、学校長も知らないってところで、候補地挙げられて、それを決める。それをせっかく頑張って考えて決めた答えは、うまく進まないんじゃないかっていう心配があるわけです。</p> <p>そういうところでも、やっぱりここできちりと議事録は公開するようにしていただきたいし、かん口令を解いていただきたい。</p>
教育長	今おっしゃっていただいたことについては、内部で 1 度検討しまして、3 回目が始まるまでにお答えさせていただきます。
委員	・答弁の仕方として、書きようがあると思う。答弁を丁寧に書くようお願いしたい。
教育長	<p>私たちの思いと違う形で伝わっていたというということもあるので丁寧にしていきたい。</p> <p>特に小中一貫とここだけちょっとここで言わせてください。義務教育学校のことについては、ということで思ってください。というのは義務教育学校といたら中学校と 2 つの小学校あります。だから今の応其小学校のところを考えていくことができるか、それはできないよって。だから、将来的には考えてるけどっていうのはそういうことです。</p> <p>小中一貫教育というのは、前から小学校と中学校の連携っていうのは、ずっと今もやっていますし、前からもやっています。特に高野口中学校区については小学校 2 校と中学校 1 校が同じ研究を進めておりますので、内部的にはかなりやっているんです。だから、小中一貫教育をしてないっていうそこだけは、誤解しないようにしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
委員	団体で相談できない団体もあることを理解しておいてほしい。
委員	<p>9m 道路についてどうなっているのか。担当課から説明もなく進んでいることが怖い。もし無理となったときに建築までの期間が伸びるのではないかな。あと一回で決まってしまうのが怖い。</p> <p>説明をしっかりしていただきたいかった。9m 道路にしないといけない可能性があるのかどうか聞きたい。</p>
委員	市からは、開発許可のことがネックとしてずっと説明されてきた。9メートル道路に広げないといけないうところを、6メートルで行ける。

	<p>他の橋本市の決まりを提案してこれは使えないですかっていうことを言ったんですけど一切取り合ってもらえることなく、開発許可が開発許可だっというところ、突っぱねられてきたところもありましたので、第1回目はそのあたりの説明がないままに、お話があったので、その第1回の説明が、私たちの頭の中はどないってというのは9メートルじゃなくてもいいのっていう。</p> <p>あとはその広さが狭いって言われてたのに、候補地として挙がってるのはそれで大丈夫なんだとか、いつその切り替わった。ていうのがわからないまま、この度の説明だったんですね。結局は30センチの土地の切り盛りがなければ、開発許可が必要ないってということだったんですけどもそういう説明を受けてまして、建築家の方が専門的に調べていただいて、やっとそれが不要ないってということがわかって、候補地として改めてきっちりできたって内容はよくわかったんですが、どういう方法で、それ可能になったかとか、実はそこまで知りたかった。ていうところです。</p>
委員	まちなかにというのは良いけども、どこに建てて下さいというのは言えないのではないか。
東畑建築事務所	30センチの盛り土切り土の話で開発にかかるかかからないがある。今の地形を活かしながら工夫しながら進めていくっていうふうで、条件ありっていうことで、計画していくような形になる。
委員	候補地としてふさわしくないんじゃないかと思われる土地、素人目でもそれがわかるんですけども、そちらと、その応其中学校跡地を比較検討するために、調査費、税金を投入して、長い時間をかけて行われたんですけども、そのような税金の使い方は住民の理解終えられると思われませんか。
教育部長	今日の結果を受けとめて、候補地としては、もう2つのうち、こっちかなっていうのがありましたけども、それを、この会議に諮問させてもらってます。いろんな関係者の方々に、教育委員会だけでなく、やはり児童や学校に関わってる方々に意見を聞いて、候補地として諮問させてもらったので、この答えとしては、真摯に受けとめたいと考えてます。
6. 閉会	